

薬及び代謝産物が検出されは10万分の1(%)の農1マイクログ(マイクログ尿は9人から0.3~1.5%の農業成分を検出。1%)、水道水は約40ナ(%)、(%)は10億分の1(%)は約40~180ナ分析を行った。結果、湧水農民連食品分析センターが、80代の男女10人から採取。1カ所の水道水、尿は50代所の湧水や井戸、貯水池、月に行われ、水は市内9カ調査は昨年11月~今年3

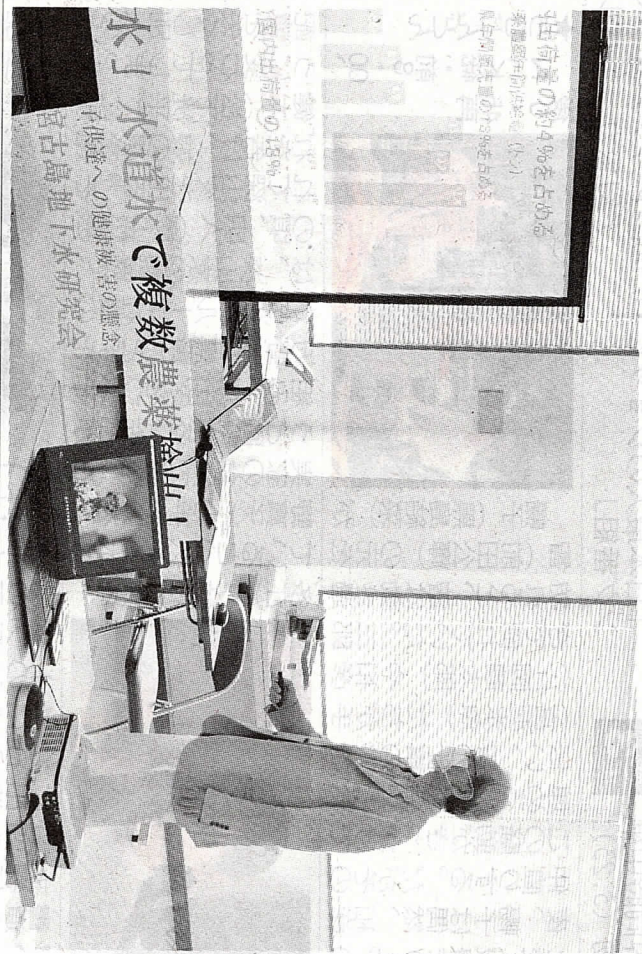
求めた。のモニタリング調査などを行政に農業に関する地下水期飲用による影響を懸念しに健康被害はないものの長容量は下回っており、すぐ発表した。国の1日摂取許の農業成分が検出されたと果、非常に微量ながら複数住民の尿を調査分析した結

で採取した地下水や水道水、(友宮古島地下水研究会)利苜樹、前里和洋、新城竜一共同代表)は28日、市内

た。農薬共済組合宮古支所会議室で分析結果を発表した同研究会の友利共同代表は「非常に微量ですが、健康被害がある訳ではないが、予防原則に基づき早急な対策が必要」と主張し、地下水水質モニタリング調査による農薬濃度調査、農薬散布時期や降雨後等を考慮した年間モニタリング調査の結果の公表を求めた。オンラインで出席した新城共同代表は「市が継続的に宮古の地下水がどういった状態なのか分析してほしい。市と協力して対策を

農薬から微量水道水など

地下水研究会 行政の監視調査求める



地下水の分析結果などを説明する友利共同代表

28日、農薬共済組合宮古支所会議室